

# 幼 兒 教 育

第十九卷  
第十號

大正八年十月一日發行

## 聾啞兒童について

東京聾啞學校長 小 西 信 八

折角人としてこの世に生れながら、その最も人としての特権である言葉、人間生活の最要の武器とも云ふべき、思想交換の唯一の手段たる言語を理解する事の出来ない聾啞の人、何が不幸であると云つても聞く事も話す事も出来ないこの不具者ほど不憫なものはありません。よく俗に「盲人は可愛相であるがこの世の事を見ないのであるから罪がない、しかも人の云ふ事も解るし自ら話す事も出来るから。しかるに聾の人は見て又感じてゐても自分での発表も出来ぬ全く罪だ」と申しますが實際、眼に様々の現象を映じ、人々の心におこる様々の働きを直観しながらしかも自ら、一音もきゝ得ず、一言も發し得ぬこの不具者の憐れさは推察に餘りがあると思ひます。

人誰が子孫の健剛その繁榮を願はぬ者がありません。善い上にもよかれかしと願ふは親心の常で人並みに生れた子を持つ親としてもまたいやが上にその健全なる發達を希ふのであつて身にも心にも一點の瑕なきを思つて苦勞するのであります。生れた子に對してかく迄熱烈に最良を期する世の人々は何故、子の生れぬ先に、即ち結婚に際して、否各個人が身をつゝしむ事に於て嚴格に眞面目に考へる事をしないのでせうか。如何なる原因によつて聾啞の不幸兒が生れるか、これは私は今更此處に申上る迄もなく既に永い間種々の方面の研究が世にこれを明らかにして居る事でありませう。近縁結婚による弊害、酒毒及亂淫の結果が生兒に及ぼす影響は誠に恐るべきものであります。左に本校が調査統計したる表を御參考の資と致します。(文責記者)

第一表

開校以來生徒失官原因表

(明治一三年ヨリ  
大正七年四月八日マデ)

男兒  
女兒

原因	年齡	生來	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	不詳	別計	合計
一 生來		二七二													二七二	四四三
二 腦膜炎			一四〇	一七〇	二〇三	六五	二五								二七二	二〇三
三 腦病			七五	四九	一〇	二									一三六	五五
四 腦打撲			一五	〇六	四〇	四									一三六	七四
五 外聽道炎			二七	五	三六	二									二六一	三七
六 中耳炎			四	一三	三三	一									八二	二〇
七 麻疹			二	三	一	二									六六	一二
八 小兒急癩			三	四	一										五六	一一
九 百日咳			三	一											四	一一
一〇 ギフテリヤ			二	四											四六	一〇
一一 遺傳梅毒					二										四	九
一二 熱病					三										五	六
一三 腦水腫			三												四	四
一四 流行感冒				一											四	三



第二表

開校以來兩親婚別生徒失官原因統計表

(明治一三年ヨリ  
大正七年四月八日マデ)

失官原因	兩親婚別							男	女	合計
	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七			
一 生來	一九	一三	三三	三	三	一	三	二七	一七	四四
二 腦膜炎	二三	六	一六	二	三	一	二	二七	七	三四
三 腦打撲	三七	九	五	六	一	一	二	四八	二	五〇
四 腦病	三〇	一四	四	三	三	一	三	五九	一六	七五
五 外聽道炎	一八	二	一〇	一	一	一	一	二二	一六	三八
六 中耳炎	一〇	六	一六	三	三	一	三	二二	八	三〇
七 麻疹	六	四	一〇	一	一	一	六	六	六	一二
八 小兒急癩	五	三	一	一	一	一	六	六	五	一一
九 百日咳	三	七	一	一	一	一	四	四	七	一一
一〇 ザフテリヤ	六	四	一〇	一	一	一	六	六	三	九
一一 遺傳梅毒	四	四	一〇	一	一	一	四	四	三	七
一二 熱病	六	四	一〇	一	一	一	六	六	四	一〇
一三 腦水腫	一	四	一	一	一	一	一	四	四	八



第三表

卒業生結婚及産兒 (大正七年三月末調)

結婚別	組數	結婚當事年齢				同棲年數				産兒數				
		合計	最多	最少	平均	合計	最多	最少	平均	合計	最多	最少	平均	
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
一類 聾夫常婦	二七	七〇	四三	三六	二〇	二六	二一九	三〇	二	八	五八	二二	〇	二
二類 聾夫聾婦	二三	六五	二三	三八	二四	二八	一一九	一七	一	五	二五	五	〇	一
三類 常夫聾婦	一一	二八	八三	〇一	六二	二四	一二四	二九	三	一〇	二〇	四	〇	二
合計	六二	一四九	五三	三八	一四二	二四	四七二	二〇	一七	一〇三	一一	二	〇	二

注意 一、第一類ノ二七夫と、第二類二三組中ノ一八夫ト一九婦、第三類一二婦トハ皆本校卒業生  
 二、三類共ニ結婚年月年齢不詳者若ハ死亡離縁同棲年間ノ孰カガ不詳者若ハ同棲年間滿一年  
 ヲ超エザル者ヲ控除シタリ(第一類ニハ一六組第二類ニハ一二組第三類ニハ三組)

第四表

卒業生死亡一覽 (大正七年三月末調)

學科	卒業		死亡原因		合計	若卒業者中死亡者									
	總計	原因	肺結核	膈膜炎			自殺	脚氣	胃腸	腎臟	赤痢	心臟	チフス	出産	怪我
一 尋常科	男 一六〇	女 六四	一三	三	二	二	二	二	一	二	二	一	一	二九	一八
二 高等科	男 二七	女 七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一
三 圖畫科	男 四五	女 四	七	一	一	二	二	一	一	二	一	一	一	一二	二六
四 裁縫科	男 二一	女 八五	三	二	一	五	二	一	一	一	一	一	一	九	二四
五 木工科	男 二八六	女 三三	二八	四	一	四	一	一	一	一	一	一	一	四	二二
合計	男 二八六	女 一六〇	二八	四	一〇	三	四	三	四	三	四	一	一	五三	二二
計	四四六	四〇	一〇	三	四	七	四	一	五	二	一	一	一	七八	一七

尋常科及高等科卒業生ハ高等科へ、尋常科高等科及技藝科卒業生ハ技藝科へ、技藝科中圖畫科木工科卒業生ハ木工科へ、同圖畫科裁縫科卒業生ハ裁縫科へ轉計ス